

令和2年度実績報告分

「福祉サービス第三者評価」を踏まえたサービス改善計画・実施状況

施設名	特別養護老人ホーム慶福育児会麻布慶福苑		施設番号	K130
項目	評価結果に基づく現状分析 (令和2年度)	改善計画 (令和2年度末時点)	実施状況(予定を含む) (令和3年4月30日時点)	左記実施状況に実施予定が あった場合の実施状況 (令和3年4月30日時点)
「職員の研修、育成計画を職員の考えを吸収して再検討するのが望まれる」 について	経営層の作成している事業計画書、経営層合議用資料からは職員の育成、研修に対する意気込みが伝わってくるが、職員の自己評価の「職員の育成」に関連する項目は過去3年間評価が低いままである。このことは前回の第三者評価で改善が望まれる点とされ、2020年4月の運営会議でも取り上げられているが今回の職員自己評価でも評価は低くなっている。経営層の考えと職員の受け取り方に乖離があるのではないかと危惧する。改めて、職員の意見を聞く等乖離の要因を把握・分析し、職員の研修・育成計画を再検討することが望まれる。	年3回実施している業務目標制度による自己申告と施設長のヒアリングにて職員の意見を聞く機会が多くある。ヒアリングでの内容は管理職会議(施設長・事務長・総括主任)で共有している。さらに個々の職員への周知を図る。	① 実施済み ② 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。管理職会議共有されたヒアリングの内容ですぐに実行可能なこと他法人への見学等の希望について個別に実施する方向で調整を取っている。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
「食事、服薬、更衣の面でさらなる改善が望まれる」 について	食事面ではイベント食・選択食等様々な企画をして楽しい食事を目指し成果を挙げているが、味の不満が出されていることが惜まれる。服薬も誤薬を防ぐための見直しが続けられているが、目標に向けてさらなる取り組みが期待される。更衣は朝晩の職員数の問題もあるが、利用者にとって生活のメリハリ、手足を動かす生活リハビリの観点からしても、日々朝晩の更衣介助が可能になるような職員体制の工夫が望まれる。	毎月第3木曜日に開催される給食会議の場では給食委託業者との意見交換を行っている。その場を活用し利用者の方の要望を委託業者に伝え食事内容のさらなる改善に繋げる。服薬管理はマニュアルを徹底する。更衣については利用者の身体的・精神的な状況に合わせた対応を行うマニュアルがある。マニュアルに従って生活リハビリに繋がる更衣を行う。	① 実施済み ② 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。給食会議では利用者の方の要望をより具体的に委託業者に伝え改善に繋げる。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。
「新型コロナウイルス感染対策について毎週検討している。一方で、基本的衛生管理面で緩みが見られる。今後さらに衛生管理に留意することが望まれる」 について	新型コロナウイルス感染防止対策を考えながら行事等の開催について、毎週BCP会議を開催して国の指針に先行して独自に活動を行っている。一方で、フロアでは、利用者から預かっている食品の管理や、浴室の清掃管理等、衛生面で危惧される実態が観察される。命に直結する事象ではなくても、今後さらに生活の基本となる衛生管理に注視すると共に、細菌感染に関する正しい知識を身に付け、利用者にとって安全・安心なサービスを提供することが望まれる。	利用者の方の食品管理は名前と日付を付け古くなったものは処分するよう各利用者の担当が管理している。感染症予防については研修にて再度徹底する。	① 実施済み ② 実施予定(令和 年 月ごろ) 具体的には以下のとおりです。感染症予防研修は資料配布のみの1回を含め年4回実施し衛生管理に努めている。	1 実施済み (年 月) 具体的には以下のとおりです。

※この様式は、「令和2年度東京都特別養護老人ホーム経営支援補助金交付要綱」の規定に基づき、利用者の皆様にお知らせするためのものです。

※「項目」は、第三者評価における「さらなる改善が望まれる点」などを参照に、施設が独自に決めています。

※第三者評価(又は利用者に対する調査)の結果は、施設において公表しているほか、「とうきょう福祉ナビゲーション」によりインターネットでも閲覧できます。